

日ごろの訓練成果を披露

8月22日、荒尾市で熊本県消防操法大会が開催され、市の大会で優勝した市消防団本部機動班が出場しました。この操法大会は消火のための操作の正確さやスピードを競うもので、本部機動班は小型ポンプの部に出場しました。結果は出場した25隊中15位という成績でしたが、選手たちは猛暑に耐えて精一杯の訓練成果を披露しました。



出場した本部機動班の選手たち

人気番組に合志市が登場

9月5日放送の「ザ!鉄腕!DASH!!(日本テレビ)」で、本市の郷土料理「あんもちだご汁」が紹介されました。



トウモロコシを刈り取りしていた斉藤博紀さん



(写真左から)あんもちだご汁を披露した渡辺千恵子さん、坂田小百合さん、坂田春美さん

また、撮影日は飼料用トウモロコシの刈り取りが行なわれている時期で、その風景も一緒に放映されました。

取材を受けた酪農家の斉藤博紀さんや渡辺千恵子さんたちは、当日まで取材の番組名が知らされておらず、いざレポーター(TOKIOメンバーの山口達也さん)が到着すると驚いた様子でしたが、落ち着いた対応で取材もスムーズに進みました。

この様子は日本テレビのホームページで見ることができます。
<http://www.ntv.co.jp/dash/>

認知症予防について学ぼう

9月25日、ヴィーブルで菊池地域「認知症を知る」普及啓発シンポジウムが開催されました。

第一部では認知症予防研究の第一人者である矢富直美さんを講師に迎えて予防のための講演が行なわれ、「有酸素運動・食べ物・頭を使う生活」などのお話がありました。

第二部では、「認知症の方を地域で支えるまちづくり」と題してパネルディスカッションが行なわれ、家族会・権利擁護センター・医師の立場で地域支援の取り組みについて話されました。

参加者からは「認知症予防に努めたい」「地域でできることがあれば」など多くの感想が寄せられました。



矢富直美さんの講演

道路美化活動で地域に貢献

8月25日、菊池地域振興局でロード・クリーン・ボランティア事業優良団体表彰式が行なわれ、熊本県立菊池養護学校が表彰されました。

これは、県が道路美化活動の普及を目指した事業で、同校は合生地区内の国道387号沿いの歩道を清掃し、地域の見本にふさわしい活動として評価されました。

式では、児童生徒を代表して小学6年生の早川裕登さんと徳永遼太郎くんが表彰状と記念品を受け取りました。



(写真前列左から)式に出席した早川さんと徳永くん

100歳おめでとうございます

平成22年4月から8月までに満100歳を迎えられた4人の皆さんに、市長からお祝いのメッセージと祝金が贈られました。

●100歳到達者

竹田ウメさん(明治43年5月20日生)
金森キミエさん(明治43年7月15日生)
安武チズ子さん(明治43年7月24日生)
小林ミツさん(明治43年7月28日生)

※ご本人の希望で写真はありません。



竹田さん



金森さん



安武さん

地域の子どもたちに遊具を

9月26日、合志市管工事組合(松岡真一会長)が熊本県農業公園カントリーパークで遊具設置のボランティア活動に協力しました。

カントリーパークの管理運営を行なう熊本県農業公社が公園内に古タイヤを使った子ども向け遊具施設の設置を計画し、遊具設置のボランティアを呼びかけたところ、市内の管工事業者で組織する合志市管工事組合が地域貢献として参加を申し出ました。同組合役員のほか、市職員などが参加し、アスレチック広場内に29個の古タイヤを半分埋めて遊具を設置し、周辺の肥後しょうぶ園の整備も行ないました。



ボランティア活動に協力した皆さん

犬を飼っている人へ

～飼い犬に関するトラブルや苦情のないまちづくりのために～

飼い犬に関するトラブルや苦情は、そのほとんどが飼い方に原因があります。犬の習性を理解して適正に飼いましょう。



放し飼いはやめましょう

放された犬による咬傷事件が多発しています。小さいから、おとなしいから大丈夫と思っていませんか。犬が嫌いな人や子どもにとっては大変な恐怖です。絶対に放し飼いはやめましょう。

【放し飼いによる事件例】

- ①散歩中、普段おとなしい犬が子どもを目下と判断して、かみついてけがをさせた例
- ②犬が突然道路に飛び出し、避けようとした車が事故を起こし管理責任を問われた例など、多数あります。

また、飼い犬がいなくなった、保護したなどの届出も多く、そのほとんどが未解決のままです。しかも、保護

された犬は1～2週間程度係留された後、最悪の場合は殺処分となってしまいます。犬はしっかりとつないで飼育しましょう。犬をつないでいる綱や鎖は切れやすくなっていないか定期的にチェックして、室内犬であっても外に出ないように注意が必要です。

また、犬を飼うには市での登録と毎年の狂犬病予防注射が義務付けられています。飼犬の首輪などに鑑札や名札をつけておくと、もし迷い犬となっても保護された時点で飼い主が分かります。飼犬には鑑札や名札をつけましょう。

※犬がいなくなったり、犬を保護した時は環境衛生課へご連絡ください。

むだ吠えをさせないようにしましょう

犬にストレスをためさせていませんか？

適度な運動は犬のストレス解消のために重要なことです。ストレスがたまった状態だと無駄吠え・夜鳴きなどでご近所に迷惑をかけることになります。

散歩時のフンは持ち帰りましょう

飼い犬に関する苦情の中で一番多いのが、犬のフンの不始末です。

散歩は、犬にとってストレス解消と夜鳴きの予防に必要なことですが、路上などにフンが放置されることで多くの人が迷惑しています。散歩中のフンは必ず持ち帰ってください。

浄化槽設置基数等実態調査にご協力ください

10月から熊本県浄化槽協会がお伺いします

浄化槽は、適正な維持管理がされて初めて水質浄化の機能が発揮されます。県では、今後の生活排水処理施策を進める上での重要なデータを整理するため、戸別訪問などの方法により、浄化槽の設置状況や維持管理状況等の実態調査を行なっています。本市

では10月からの調査を予定しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、調査には県から委託された公益社団法人熊本県浄化槽協会から調査員がお伺いします。(料金はいただきません。)

問い合わせ先 公益社団法人 熊本県浄化槽協会 ☎284-3355

事故防止に努めます

8月18日、ごみ収集車による巻き込み事故や、車両火災を想定した対応訓練が行なわれ、ごみ収集運搬業務委託業者(株)セイブクリーン、(有)宇都宮産業の従業員や、市職員など約30人が参加し、菊池広域連合西消防署の指導を受けました。参加者は事故防止のため熱心に説明を聞いていました。

